

5) 大和郡山市都市計画区域マスタープラン(R3.3)

浄化センター公園(現まほろば健康パーク)について、「市民が相互に交流を深め、あらゆるスポーツを楽しめるレクリエーション拠点として、運動公園等の必要な施設整備を図る」ことを方針のひとつとしている。

6) 大和郡山市緑の基本計画(R3.3)

大規模な公園の1つにまほろば健康パークが挙げられており、「スポーツ・健康づくりに関するイベントの実施等により、多様な利用を促進し、有効活用に努める」ことを方針のひとつとしている。

7) 奈良県スポーツ推進計画(H30.3)

「子どもを健やかに育むスポーツの推進」を展開方向の柱のひとつとしており、子どもの体力向上への取り組み方針を示している。(2.2 (1)参照)

8) 奈良県中央卸売市場再整備基本計画(R1.9)

京奈和自転車道を利用した「まほろば健康パーク」との連携、佐保川沿いの空間を活用した音楽や演劇の提供など市場施設の外の活動との一体的活用を進める。

9) 奈良県植栽計画(H26.3)

奈良県をひとつの庭と見立てた、四季折々の彩りを楽しむ庭づくりを目指す、「なら四季彩の庭づくり」を理念として、作庭方針を示している。その中で、大和盆地地域では、「公園全体で整合を図りながら、草花花木の植栽などにより彩りある空間を創出すること及び公園内から美しい眺望が楽しめるように、支障木の伐採による眺望の確保や視点場の整備を行うこと」が示されている。

2.2 本公園を取り巻く課題

(1) 奈良県における運動・スポーツに関連した課題

平成 30 年に改訂された奈良県スポーツ推進計画では以下のような課題が挙げられている。

(奈良県スポーツ推進計画より抜粋)

現状と課題

- 奈良県の子どもたちは、全国平均と比べると、1 週間の運動時間が 60 分未満である割合が小学校、中学校ともに高くなっています。また、中学校では、運動をする子どもとしない子どもの二極化がみられます。
- 生涯にわたってスポーツを楽しむためには、幼児期からスポーツに親しむ機会をもち、身体を動かす楽しさを体験して、運動・遊びといったより広い概念でスポーツをする習慣を身につけていくことが大切です。
- また、地域におけるスポーツ施設として重要な役割を担う学校体育施設について、有効活用を図るほか、公園など、身近なまち中の公共施設等を活用したスポーツ環境の整備が求められています。

また、スポーツ推進に向けた具体的な展開方向として下記のとおり示されている。

(奈良県スポーツ推進計画より抜粋)

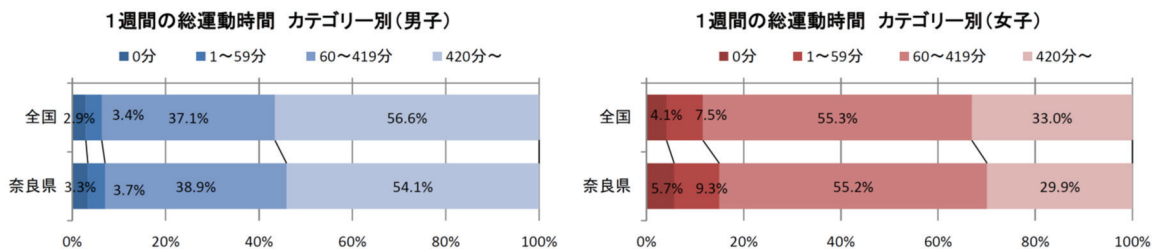
施策の展開方向

○地域・家庭でのスポーツの推進

- ・ 子どもたちが楽しんで運動する習慣を身に付けられるよう、地域で保護者と子どもが一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントを開催するとともに、公園や遊歩道など、身近に運動に親しめる環境の整備を促進します。

なお、奈良県教育委員会が報告している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果」(H30.6.8)を次頁に示す。

【小学生】



【中学生】

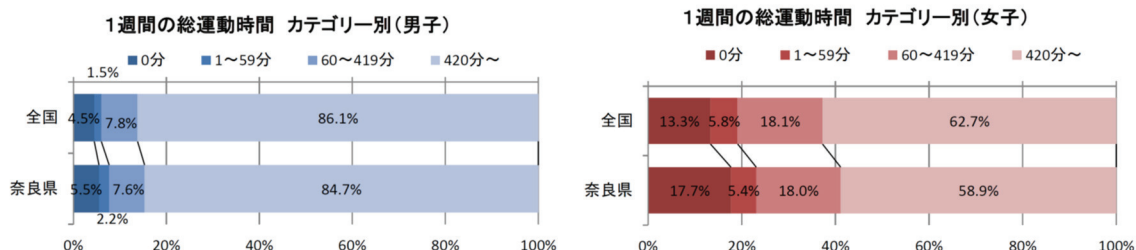


図 2.12 1週間の総運動時間

出典：奈良県教育委員会（平成30年），「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」

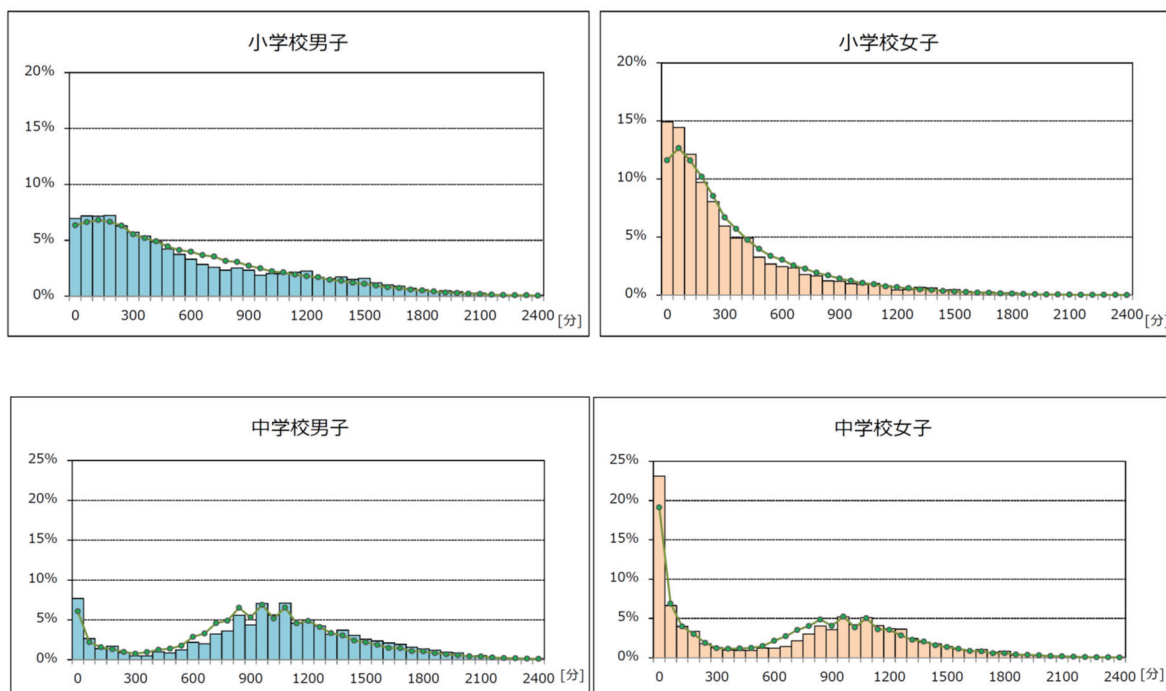


図 2.13 1週間の総運動時間の分布

出典：奈良県教育委員会（平成30年），「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」

(2) 奈良県における子どもの遊び場に関する課題

近年は、危険防止等の理由から身近な公園ではボールの使用が禁止され、校庭への立入が制限されるなど、子どもが日常的にのびのびと遊ぶことができる空間が減ってきている。また、広域利用を目的とした国営・県営公園についても「子どもの遊びと運動」をテーマに整備されたものはなく、民営の遊園地についても、2004年に奈良ドリームランドが、また、2006年にあやめ池遊園地が閉園したことから、県内では子どもと大人と一緒に楽しめる遊び場が少ない状況にある。

(1)及び(2)を踏まえ、子どもの体力づくりと健全な身体の発達に向けて、子どもが楽しく体を動かしながら成長できる場を整備することが求められている。

表 2.7 奈良県における面積がおよそ 10ha 以上の国営・県営都市公園の整備状況

公園名	所在地	供用面積(ha)	主なテーマ
奈良公園	奈良市	511.3	歴史、自然環境
県営平城宮跡歴史公園	奈良市	8.1	歴史、自然環境
大湊池公園	奈良市	23.5	自然環境、スポーツ
大和民俗公園	大和郡山市	22.6	歴史、自然環境
まほろば健康パーク	大和郡山市、川西町	11.8	スポーツ、環境保全
橿原公苑	橿原市	10.2	スポーツ
馬見丘陵公園	広陵町、河合町	56.2	花、自然環境
竜田公園	斑鳩町	14.0	景観保全
県営うだ・アニマルパーク	宇陀市	8.2	動物愛護
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域	奈良市	31.8	歴史、自然環境
同 飛鳥区域	明日香村	59.9	歴史、自然環境

(3) 下水道敷地の有効活用

本公園に隣接し、浄化センター敷地の自由広場は、将来の人口増加を見据えた下水処理施設の増設予定地であったが、昨今の社会情勢の変化に伴い、将来推計人口が減少傾向に転じたことにより、現有施設で将来計画汚水量が処理可能となったことから、平成 28 年度に下水道計画の見直しが行なわれた。

この見直しにより、大規模な下水道施設の増設が不要となったため、緩衝地の一部を有効活用することが可能となった。

その際、以下の点に留意する必要がある。

- ・当該用地が、樹林を含めた広大な緑地空間であることを踏まえ、これを損なうことのない活用形態とすることが重要である。
- ・当該用地が、豪雨時には遊水池として一定量の水を貯留する機能を持っていることを踏まえ、その機能を確保する必要がある。
- ・当該用地では 20 年以上前から、フリスビードッグやディスクドッグの大会が毎年開催されており、現在本県において、公式試合のためのコート規格を満たしているのは当該用地のみであることから、今後の利用についても視野に入れ検討する必要がある。

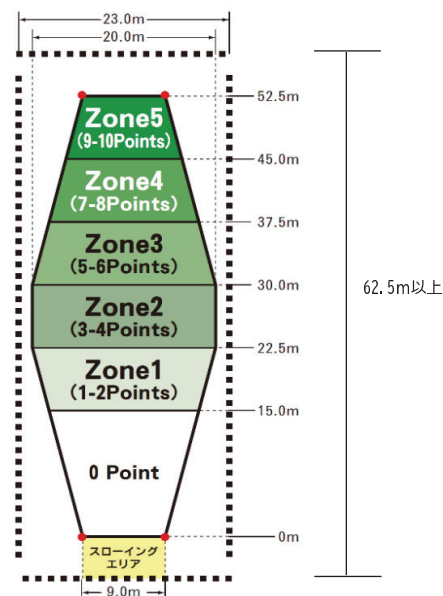


図 2.14 フリスビードッグ公式コート規格

(4) 利用の促進

現在の公園区域にある軟式野球場の利用状況は表 2.4 に示すとおり、特に平日の稼働率が非常に低い状態であり、県民サービス向上の観点から、多様な利用形態を可能とする施設への転換等、利用率の向上を図る取り組みが必要である。

(5) 民間活力の活用

現在の公園区域の整備・管理運営事業は県内初の PFI 事業として実施されている。現在のところ、この事業では来園者数が年々増加しているなど、民間の経営能力・技術力、ノウハウを活用することで、一定の成果を上げている。

また近年、全国的に民間の優良な投資を積極的に誘導し、公共の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質や利便の向上を図る取り組みが求められている。

こうしたことから、本公園においては、より一層の魅力向上とコスト削減の観点から、民間活力の活用を目指す必要がある。